

6月・夏の国際交流月「韓国祭」

今年の夏の国際交流月は、「韓国祭」がテーマです。国際交流会の学生たちの手作りポスターによる韓国の文化や習慣、ライフスタイル等に関する紹介が、町田キャンパスの国際交流プラザ前及び大江スミ記念棟1階に1ヶ月間掲示されました。

また、「食」を通して韓国の文化に親しむという目的で、6月29日5限に韓国レストラン「チング」が国際交流プラザにて開催されました。「チング」とは、韓国語で「友達」という意味です。韓国レストラン「チング」のイチ押し目玉メニューは、国際交流会の学生たちによる心のこもった手作り料理（チヂミ・チャプチュ）です。その他、韓国海苔や韓国のスナック菓子などもありました。当日の参加者は、学生47名、地域サポーターの方々8名、教職員9名の合計64名と大盛況で、レストランはあっという間に満席・売り切れ御礼という繁盛ぶりでした。「食」を共にする中で、自然と参加者同士の会話ははずみ、狭いながらも大変にぎやかで和やかな様子でした。「チング」とネーミングにぴったりの、笑顔や笑い声の絶えない楽しくおいしいひとときを参加者のみなさんに提供することができたようです。

国際交流会のみなさん、ごちそうさま。お疲れ様でした。



▲韓国レストラン「チング」にて記念撮影

中相原町夏祭りへの参加

8月21日に開かれた中相原町会三社神社祭礼に、本学に在籍する留学生14名と、釜山女子大学より研修で来日された学生20名が参加しました。荘厳な祭礼から始まり、山車、神輿が町内に繰り出した際には、浴衣姿で参加した学生がひときわ華やかで祭りに花を添え、さらに盛り上げていました。

中相原町会の皆様の温かいご配慮により浴衣の着付けから手作りの料理までごちそうになりました。最後は演芸大会で、それぞれ韓国、中国の歌を披露、そして、全員で日本語による「祭りだ わっしょい」を合唱して大盛況のうちに終わることができました。



▲浴衣姿で夏祭りへ参加

韓国協定校から21名が初めての訪問

3月に協定を結んだ韓国の釜山女子大学から21名が、初めての交流プログラムのため来日しました。8月17日から25日までセミナーハウスに宿泊し、日本語と日本文化の研修を受けると同時に、地域の方に韓国の料理や文化を紹介したり、お祭りに参加したり、本学の学生と交流したりしました。

国際交流センター・バザー“100円市”開催!

4月7日(水)に恒例の国際交流センター・バザー“100円市”が開催されました。5回目となった今回は、1日限りの開催でしたが、28,900円の収益を上げ、盛況のうちに終了することができました。収益金の半分は、ユニセフに寄付し、残りの半分は国際交流会の活動資金に充てさせていただきます。ご協力有り難うございました。

国際交流会の活動

国際交流会は、異文化理解と交流を目的とした学生の会です。前期までは下記の役員で活動しました。

会長	金 セロム(日本文化学科4年 韓国)
副会長	西澤 香菜(日本文化学科4年 日本)
書記	藤木 由美(健康栄養学科1年 日本)
会計	張 笑媚(文化情報学科3年 中国)

